

アンズリウム
Anthurium
(サトイモ科)

代表的な熱帯植物で、10℃以下の低温で保管すると障害を受ける。ハート型の花弁に見えるのは仏炎苞で、見た目は人工的だが、意外と早く変色する。本当の花は苞の中心にある黄白色の棒状の肉穂花序。葉は縦長のハート型で長い葉柄がつき、葉ものとしての利用があるが、ガーベラと同じように花茎だけで出荷。切り口にはウオーターピッケルを着けて輸送。

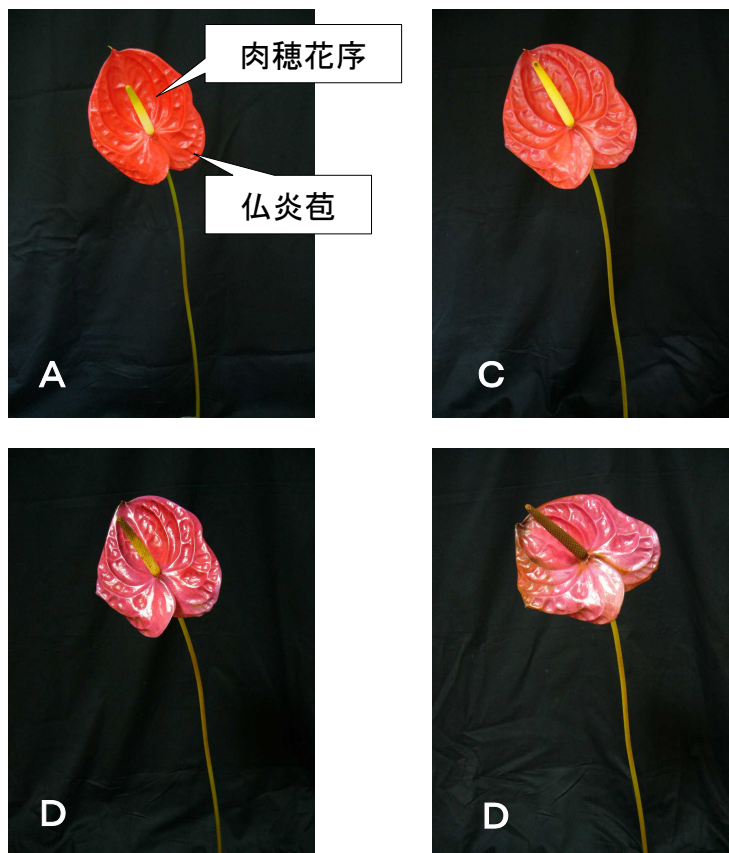
1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
肉穂花序の変色	A: 黄白色で黒変がない B: 先端がわずかに黒変 C: 先端の10%程度が黒変 D: 先端の1/3以上が黒変	未開花の小花は緑色
苞の色の鮮やかさと変色	A: 鮮やかである C: 鮮やかさがやや喪失し、変色 D: 完全に変色	他の花の花色に相当
苞の褐変・黒変	A: 褐変・黒変がない C: 先端が褐変・黒変 D: 苞の10%以上が褐変・黒変	
その他		

2) 留意点

水あげがよく、取り扱いが容易。
輸送中に苞の周辺部が傷み、変色することがある。
苞の変色と肉穂花序の変色はほぼ連動する。

3) 開花

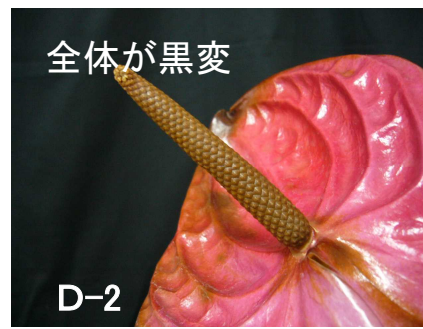
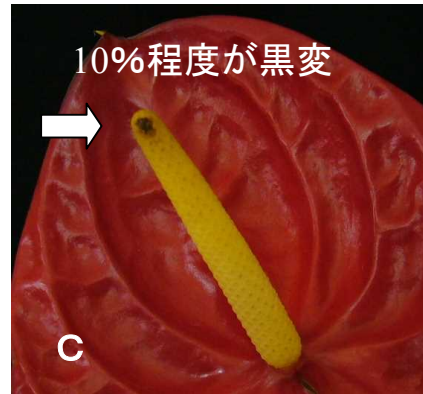
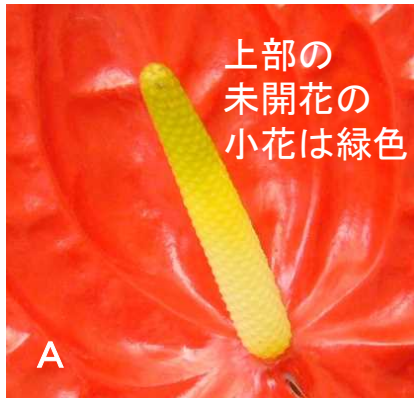


4) チェック事項

苞の色の鮮やかさ



肉穂花序の変色



苞の褐変・黒変



苞の10%以上が褐変・黒変

